

常識改変で
やりたい放題!



催眠 家庭教師日記

なかよし本舗/永吉

初めまして
今日から家庭教師させていただきます
斉藤です

うっわ…

めっちゃおじさんじゃん…

おじさんって…(生意気だなあw)
君がナツキちゃんかな?

そうだけど…

もっと若くてイケメンが良かったなー



僕が担当するのは数学だけど
不得意なこととかあるのかな？

別に不得意なことなんか無いしー
てか今日彼氏と約束あるから
早く終わらせてくれない？

へえ、不得意なこと無いの？
じゃあさっそくテストしてみようか

ええ？テスト？

まじめんどくさいんだけど…



今からおじさんがナツキちゃんとセックスのテストするから

…はあ！？何言ってるの？

変なこと言ってるとお母さん呼ぶよ？

性教育の家庭教師だから

セックスするのは普通だよ？

たしかに家庭教師とえっちするのはおかしいことじゃないけどさあ



わがまま言ってたらず早く終われないよ？
彼氏と遊ぶ約束してるんでしょ？

わかったから…

早くセックスのテスト始めようよ

言っとくけど満点取れなきゃ

今日は補習してもらおうよ？

ええ〜めんどくさいなあ

まあ別に不得意じゃないしいいけどさー





「おお〜W良いケツしてんな〜W」

「そんなじつくり見ないですよ
ほんとキモいから」

「先生にそんな口の聞き方しちやだめだろ？」
「別に先生だと思ってないし
ただのキモいおっさんじゃん」
（そのキモいおっさんに生ケツ向けてるけどなW）



「彼氏に合う前に
おじさんとセックスしちゃっていいのかな?」
「はあ? 授業だし別にいいでしょ
てか早くしてよ!」

「そんなあせらなくても入れてあげるよ」
「俺より先にイッたら補習してもらおうかな?」
「そんなの余裕だし!」
「すぐ出して終わらせてよ!」



「じゃあ早速…」

「あゝJ○の生ケツあつたけえ〜w
尻コキだけでイッちゃいそうだわw」

「あっ〜」

「ちよつと、ゴムつけてよ」

「あ？生でやるに決まってるだろ〜
ゴム付けてて授業なんかできないだろ？」

「そ、そうだったけえ？」

「彼氏にも生でさせたことないのに…」

ずりずり



「おいおい
ちんぽ擦りつけただけで
濡れてきてんじゃねえかW」
「んあっ」

ビクッ

アッ
アッ
アッ

「これはみっちり授業してやらねえとなあ？」
「はあ」
「別に興奮してるとかじゃないから」
「そうかそうか」
「じゃあ早速テスト始めんぞ？」

アッ
アッ
アッ



「おお〜きんもつちら〜」

「はあ〜はあ〜」

「◎の生マンコ最高だなあ?」

「はあ〜はあ〜」

「おい大丈夫か?」
「まだ入れたただけぞ?」

「別に…なんとも無いし…」

「何かいつもより気持ちいいんだけど…」

ビクビク

ビクビク



「おら！動くぞ！」

「えっ急にっ」

「あっあっっあんっ」

「やっばっナツキのえろまんじが

にゆるんにゆるん絡みっ」



「もっどっっゆっくっ」

「どっだ？」

「キモいおっさんのちんぽ

気持ちいいだろ？」

「はあっ？気持ちよくっっないっ」

「どうした？」

「早くイカせないで終わらないぞっ。」

「あっっはっっ」

ダメダメっっ、イッちやうっっ

イッちやうからっっ、くっ」

「ここがいいんだろ!?」
「おらイケ!イケっっ!」

「奥ダメっっ、あっっ」

「イクイクっっ、やばっっ」

IP
チユ
ッ

IP
チユ
ッ

「おっ出るっ出るっ
あはあ〜っ〜」
「外だしてっ
中ダメだからっ」

「あっあっ中出るっ
J◯まんこ孕め〜っ〜」
「あっ気持ちっ〜」
「おじさんちんぽ気持ちっ〜」



「イクぞっ!」

「ああ〜〜〜」

「あっやば」

「中出てるよお」

びゅ

びゅ

「射精止まらん」

「溜まってた分全部出てる」

「はーっはーっ」

びゅ

びゅ



「ナツキちゃん先にイツちゃったから
今日は補習してもらおうよ」

「ええ…」

もう足ガクガクだし…」

「もう生意気な態度も取れなくなるくらいに
教育してやるから覚悟しとけよ」

ガクガク

ガクガク



「彼氏に連絡しとけよ？
先生にセックス仕込んでもらうから
今日は会えないってなWWW」

「ほんと最悪…
家庭教師じゃなかったら
こんなおっさんと絶対しないのに…」

ズ
ズ
ズ
ズ
ズ
ズ





「今日はアナル舐めの授業だ」
なつき「あなる…なめ？」

「俺のケツ穴を舐めて

綺麗にする科目じゃないか」

なつき「ええっ、お尻の穴舐めるの！？

そんな科目あったっけ…」



「学校で点数低かったってお母さんから聞いてるぞ。」
「100点取れるように授業してくれって
頼まれてるんだよ、さっさと始めるぞ」

なつき「ええ…」

（もうお母さん余計なことしないでよお）





なつき「うわあ、きたなあ…毛むくじやらだし」
なつき「お尻の穴舐めればいいんだっけ？」

「おいおい、やり方も覚えてないのか？」
「これは今日もみっちり授業しないとなあ」
なつき「ええ、彼氏と遊ぶ約束あるんだけど」
「いいから早く始めろ」



なつき(こんな授業あったっけ?)知

「おおすっげえ」

「〇にケツ穴舐めてもらえると」

チロ...

なつき「別にすごくないでしょ、家庭教師なんだから」

(催眠でどんなプレイでもできそうだな)

「おい、もっと舌をベッタリつけて舐めろ」

なつき「こんな感じ？」

「おほっ、気持ちっ♡」

お前今、男のいっちばん汚い部分舐めてんだぞ」

なつき「んちゅ、授業なんだから仕方ないでしょ？」

「確かにそうだなwwじゃあ応用編だ

舌をドリルみたいにしてほじくれ」

なつき「ええ、汚くない？」

「それを綺麗にするのが授業だろ？」

なつき「そうだけどヤ…」



なつき「うわあカチカチに硬くなってる…」
なつき「へてかデカすぎでしょ」

「ああ〜それぞれ、最高♡」

「メーわ…♡♡♡」

「ぐっ♡♡♡」

「ぐり♡♡♡」

「彼氏にこんなことしたことあんの?」

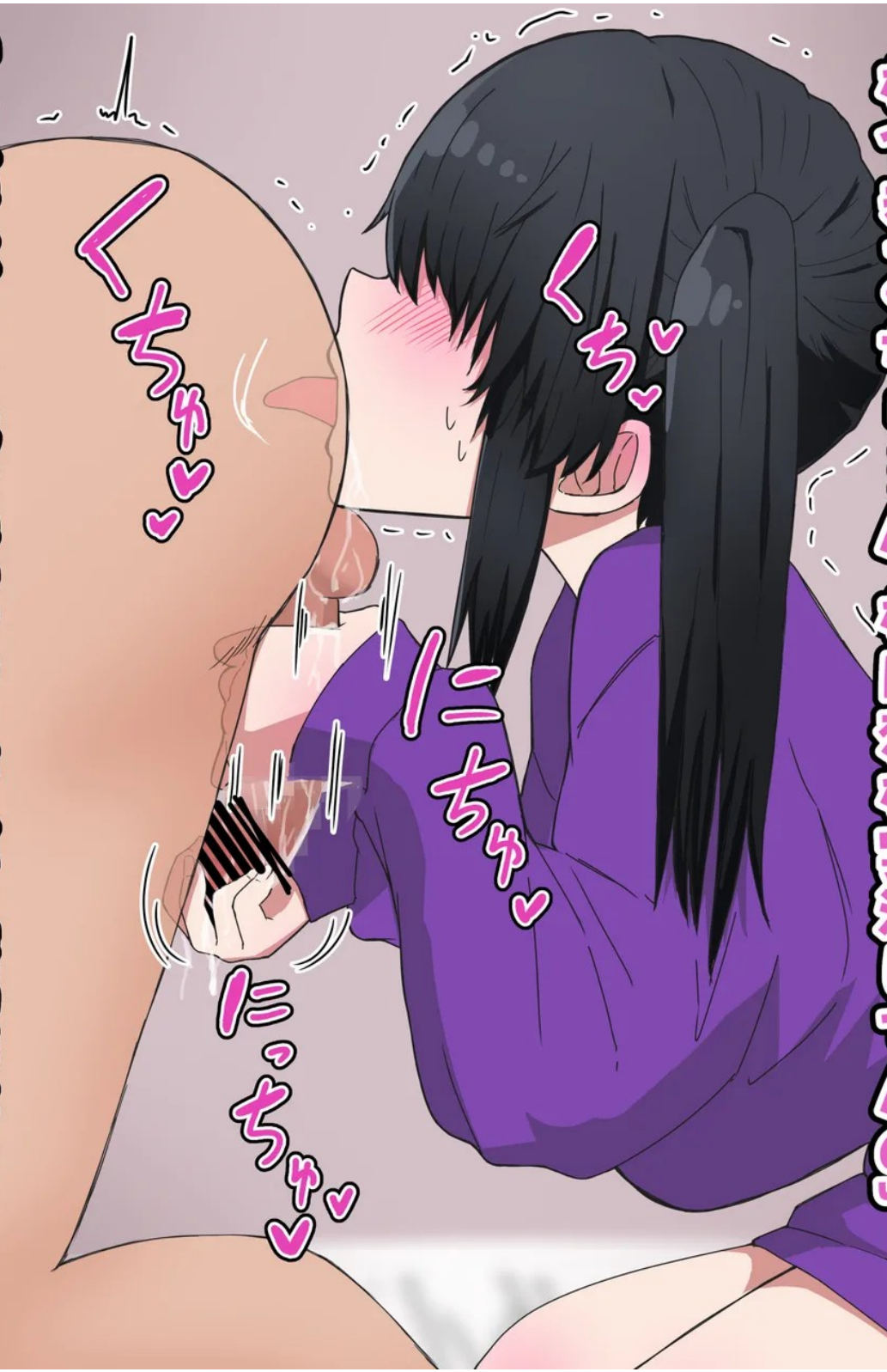
なつき「ん…れろっ無いに決まってるじゃん」

家庭教師だからしてるんでしょ?」

「そうだったそうだったW」

なつき「?」

「よだれでぬるぬるしててめっちゃ気持ちいい〜
現役J○の天然のローション最高♡♡」
なつき「くちゅ…ん、なに褒な実況してんの」

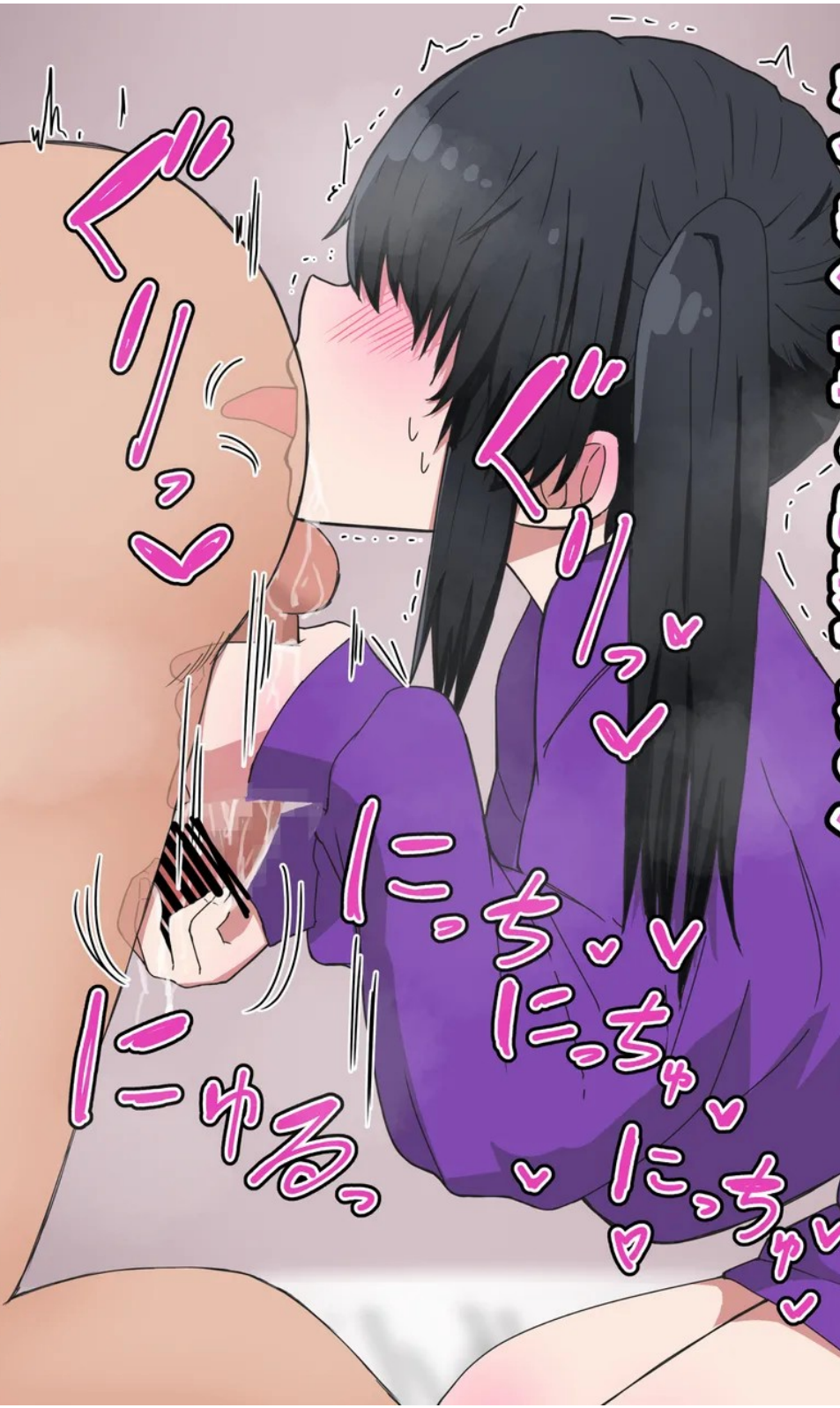


「これでバイト代まで貰えるなんて最高だなw」
なつき「なんか楽しんでない？ただの授業なのに」

「ああ〜♡♡

ケツ穴の奥ぐりぐりされんの気持ちよすぎ

なつき(上手く出来てる?)



「あ〜やばいイキそうっイキイキっ、

おい!こゝに寝そべれ!」

なつき「えっえっえっ?寝そべるのっ?」

「はー♡ほんと最高、メスガキ風俗♡♡」

なつき「んーんっ(何これどういうこと?)」

キョウッ

びびっ♡♡

しゅん

るる...

「ごぼすなよ〜全部飲め」

なつき(やばい濃すぎだって!)

ガクガク



「…ムラムラッ

「そうだ、このまま次のステップやるか」

なつき(次のステップ…?)

キュッ

ジッ

フーッ

フーッ

「次はイラマチオの授業だ」

なつき(いらま…ちお?)

ガクガク



「じゃあイラマチオの授業していくからね」

なつき「う、うん…」

なつき「初めてするけどどんな授業なんだろ」

はっ

はっ

??

「女子○生等身大肉オナホってどこかww」

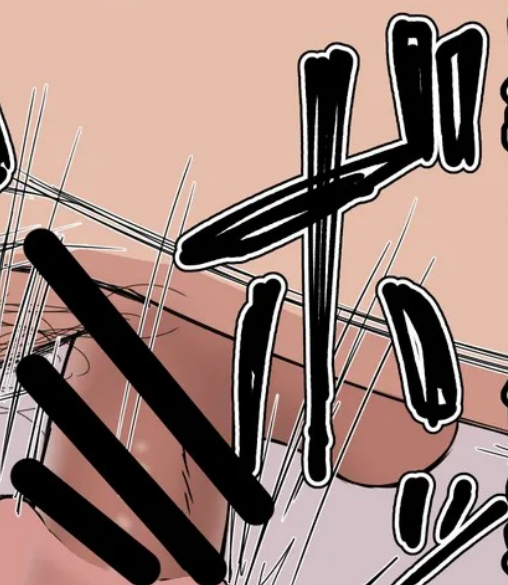
なつき「おなほ…?何言ってるんだろ」

ただの授業なのに…」

「よっ！と…」

なつき「おびっ！おびっ！？」
なつき(苦しう、何これ！？)「！」

おびっ！
おびっ！



「すまん、イキナリすぎたか？w
でもここはテスト範囲だから頑張れよ？」

なつき(ほうそ…テスト範囲なの？)
次赤点とったらヤバいから頑張らないと…」

「おらっ！動くぞ！」
なつき「ごほっおえっ」

「やっばい、背徳感すごいなこれ
隣の部屋にいる親もまさか自分の娘が
催眠かけられて汚いちんこ突っ込まれてるとは
思いもしないだろうなwww」

ズ

グツ

ズ

ズ

グ

ビッ
ビッ
ビッ

なつき「催眠…？」

毎回催眠がどうとか言ってるけど

まさか何か催眠術にかけられてる…？」

？

？

んん！！

「おい歯が当たってんぞ!

これじゃ、テストの点だぞ!?!」

なつき(催眠ってのが気になるけど、

それ以上に

学校で赤点取るほうがヤベいしなあ)

グッ

チユ

ニ

グッ

チヨ

んじ!!
ハッ!!

「ちよつと単調だなあ」

「おい、舌で裏筋刺激するとかできねえのか?

マジでオナホじゃねーんだからよ」

なつき(へまだ学校でもやってないとこなんだから

わかるはずないでしょ!?)

「おお〜これこれ、

このヌルヌル感が最高なんだよ」

なつきへ「これいつまでやればいいのか？」

ア
ロ
ッ

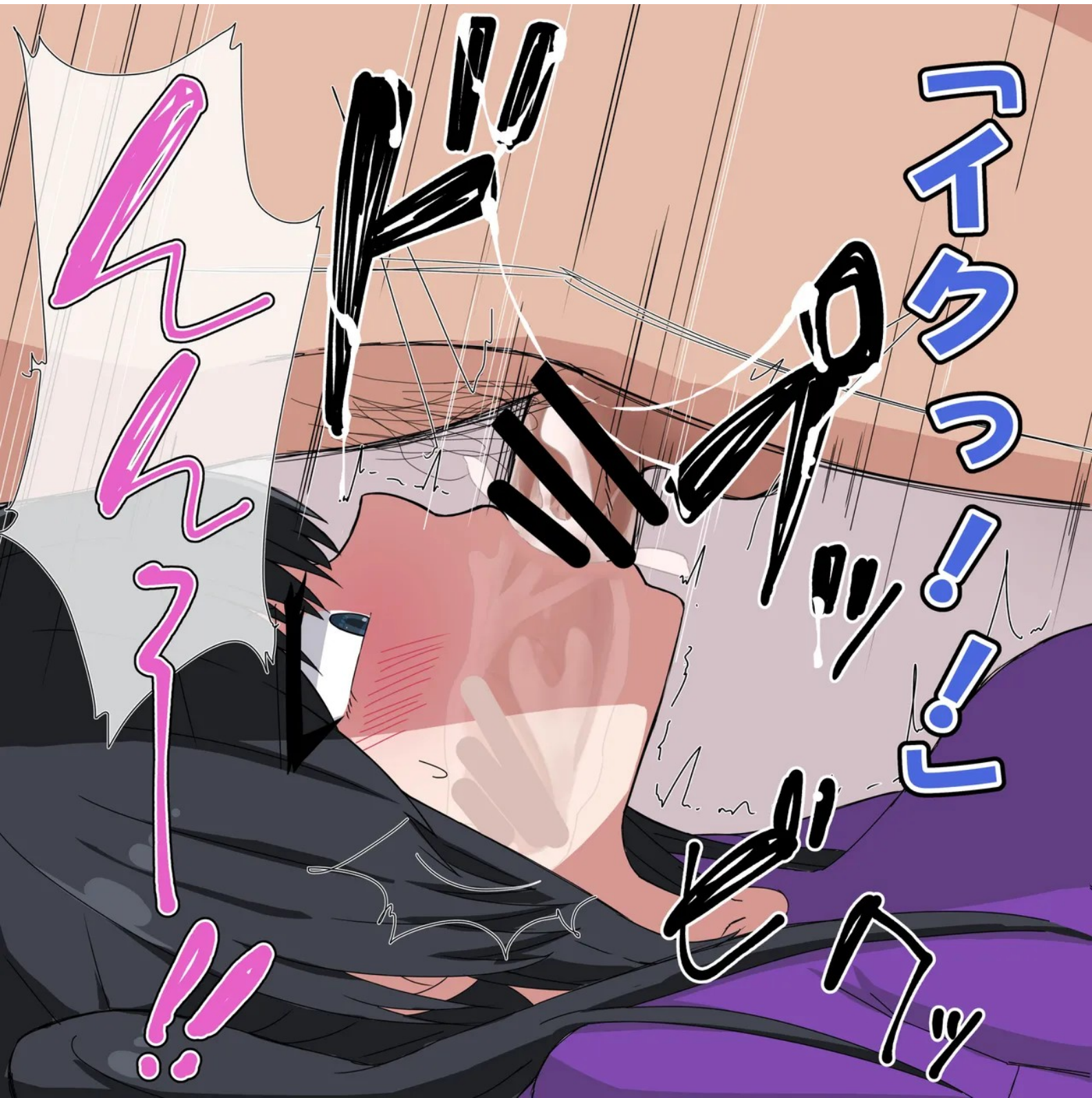
ニ
ニ
ニ

ア
ニ
ヨ
ッ

んっ

んっ

「ヤベい気持ちよすぎっ、あ〜出る出るっ♡」
「〇〇の喉マンコに中出しすんぞっ！っ！」



「はあっはあっ、残り汁もしっかり飲みよ〜」
なつき(最悪…口の中ぐちゃぐちゃ…)

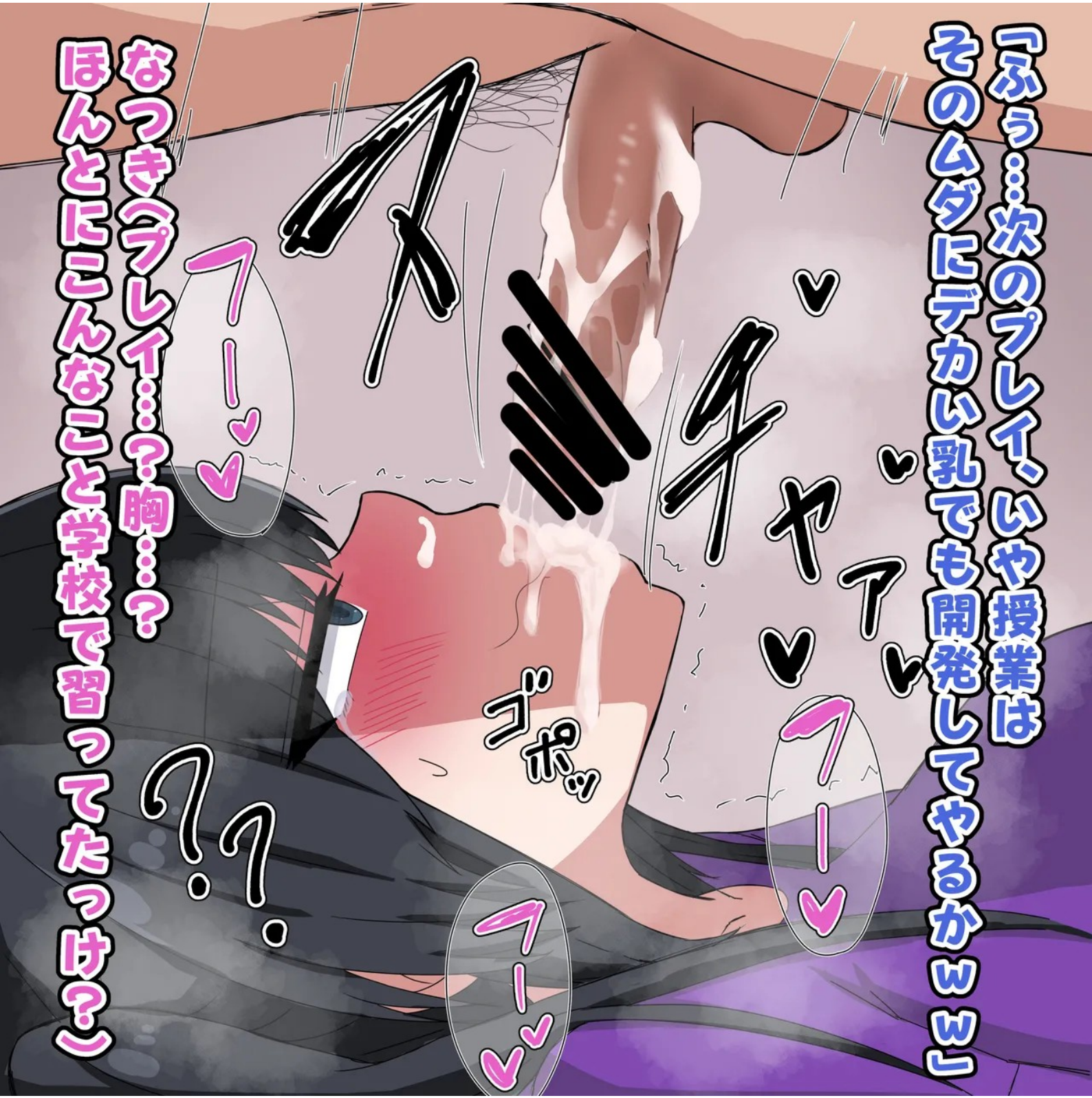
「俺のザーメンの味はどうだ？」
後で感想も書かせるから考えとけよ」

なつき(ええ〜、めんどくさ…)



「ふう…次のプレイ、いや授業はそのムダにデカイ乳でも開発してやるかWWW」

なつき(プレイ…?胸…?)
ほんとにこんなこと学校で習ってたっけ?





「今日は胸の授業するぞ」



なつき「胸え？」
（胸の授業ってなんだっけ…）

なつき「ちよつとちよつと！急に何！？」

「何って胸の授業じゃないか」



「まさか変なこと考えてるんじゃないだろうかな？
まあ年頃の女の子だしなあ」

なつき「はあっ？か、考えてないから！？」

なつき「胸の授業でしょ？早く始めてよっ」
（これ授業だよね…）
エッチなことだと勘違いしちゃったじゃん

（こいつえっろい下着つけてんなあ…）
彼氏の趣味か？ちよつと腹立つな
もっと過激なやつつけさせてやる…

ゆさ…



「おい、姫川これ授業用の下着じゃないだろ？
授業用のはどうした？」

なつき「えっ？そ、そうだったけ？」
（そんなのあったっけ…）

???

なつき「ちょっと、失くしちゃって…」

「そんなことだろうと思ったよ
予備持ってきてよかった」



「ほら、付け替えていい」

なつき「えっ! あっうん」

「ええ…こんな布面積少ないやつ…」

「んっ
んっ
んっ」

!

なつき「へっ? い、いやなんでも、
みんなやってることだし…」

「どうした?」

なつき「へっ? い、いやなんでも、
付け替えてくる!」



「着替えてきたな」

なつき「う、うん…」

なつき「授業だとしても恥ずかし〜〜〜」

「♡♡のおっぱい!!えっっろ!!♡♡」
「じゃ、じゃあ始めるぞ♡」



（あったけえ♡）
（少し汗ばんでるな…♡）

（女の子の香りとほんのり汗の匂い、
たまんねえ♡）

ピクッ

さわっ

アッ

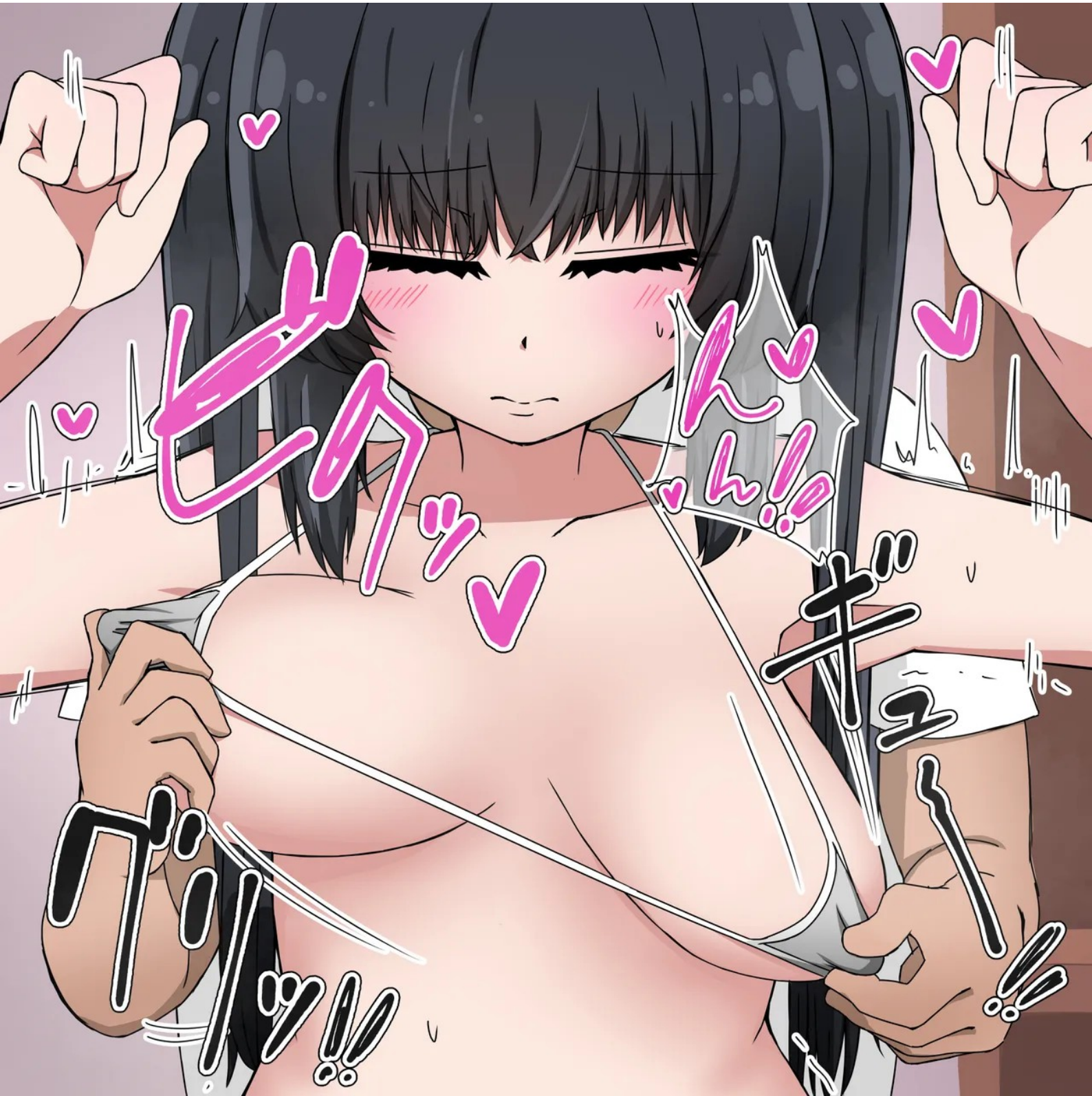


（やわらけえ〜♥
Jのおっぱいすげえな〜♥）

（やっぱJのは肌質が全然違うわ
（じゃあ次は…）

あっ
♡♡





「どうした？」

なつき「な、なんでも…」

「授業中に感じてイッたりするなよ…」
なつき「す、するわけ…」

もみ、

もみ、



「ほらほら、どうだ？」

なつき「あっ♡ああん！やばっ♡」

「何がやばいんだ？ほらほらっ」

なつき「だめだめっ！イッちゃ…あっ♡」







なつき「子作りってあの子作り…?」

「何を勘違いしてるんだ? 授業の二環だろ?」

なつき「えっ? あ…そ、そうだったそうだった!」
（結婚して旦那さんとするやつと勘違いしてた…）



「まずは濡らせないとっつて」

フー♡

フー♡

トロ♡
オ♡

「感じまくってビショビショじゃないか」

「なつき」か、感じてないしっ」

「もう入れる準備バッチリだなww

「じゃあ、俺の方も濡らしてくれ」



「早く舐めろ、授業が進まないだろ？」

なつき(うわあ…めっちゃ硬い…)

ドキ♡



ドキ♡





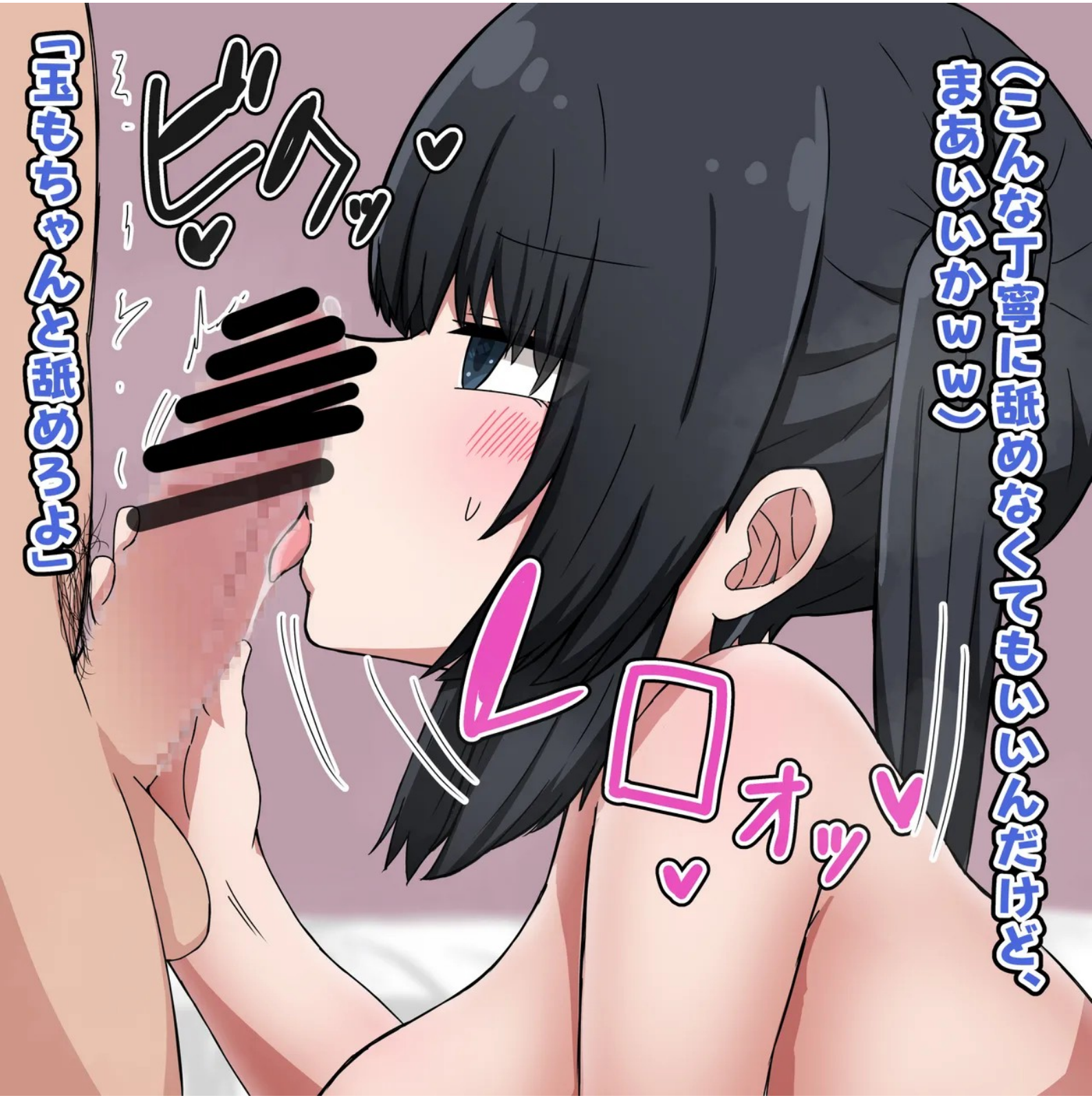
（こんな丁寧に舐めなくてもいいんだけど、
まあいいかwww）

オッ♡

ビクッ♡

ニクニク

「玉もちちゃんと舐めろよ」



「ああ〜気持ちいい♡」
「舌で亀頭舐めてくれ」

あ

あ

♡

♡



「あ〜凄い♡
ちゃんと喉奥まで啞えてえらららぞぞ♡」

にゅ

ろ

お







「よーし、そろそろくれるぞ〜」

なつき「ふあ〜い…」

ーアッ

ハッ

オ

~~~~~

ズ

□

♡

♡

♡

♡

「彼氏くん、ちよつと彼女のまんこ借りるな♡」  
なつき「彼氏は関係ないでしょ？授業なんだから」

「関係あるぞ、普通知らない男とセックスなんて  
しないし、子作りの授業なんて無いんだよ」

なつき「はあ？意味分かんないし…」  
「こいつ何言ってるの…?」

二千ッ♡♡



なつき「んんあっ♡ちよ…急に入れないでよ…♡」

「ああ♡催眠セックス最高♡」

なつき「…?気になってたけど催眠って何?」

「催眠術だぞ、お前に変なこととしても授業だと認識する催眠だ」



なつき「はあ...?かかっけてないじゃん」

ピクッ

ーッ  
ーッ  
ーッ

ーッ  
ーッ  
ーッ

ピクッ

「wwそうだなw催眠は失敗したみたいだ」

なつき「...?」

「じゃあ授業の続きするぞ」♥



なつき「あんっ♡ああっ♡あん♡」

なつき「気持ちいいっ♡」

「おいおいw授業に集中しろよw」

なつき「わかってるし…っ♡」



なつき「ああ〜♡♡♡奥っダメっ♡」

「じい気持ちいいか？おらっおらっ」

あっ♡♡♡

グッ

グッ

♡♡♡

あっ♡♡

なつき「はああ〜♡♡♡やばい♡♡♡」





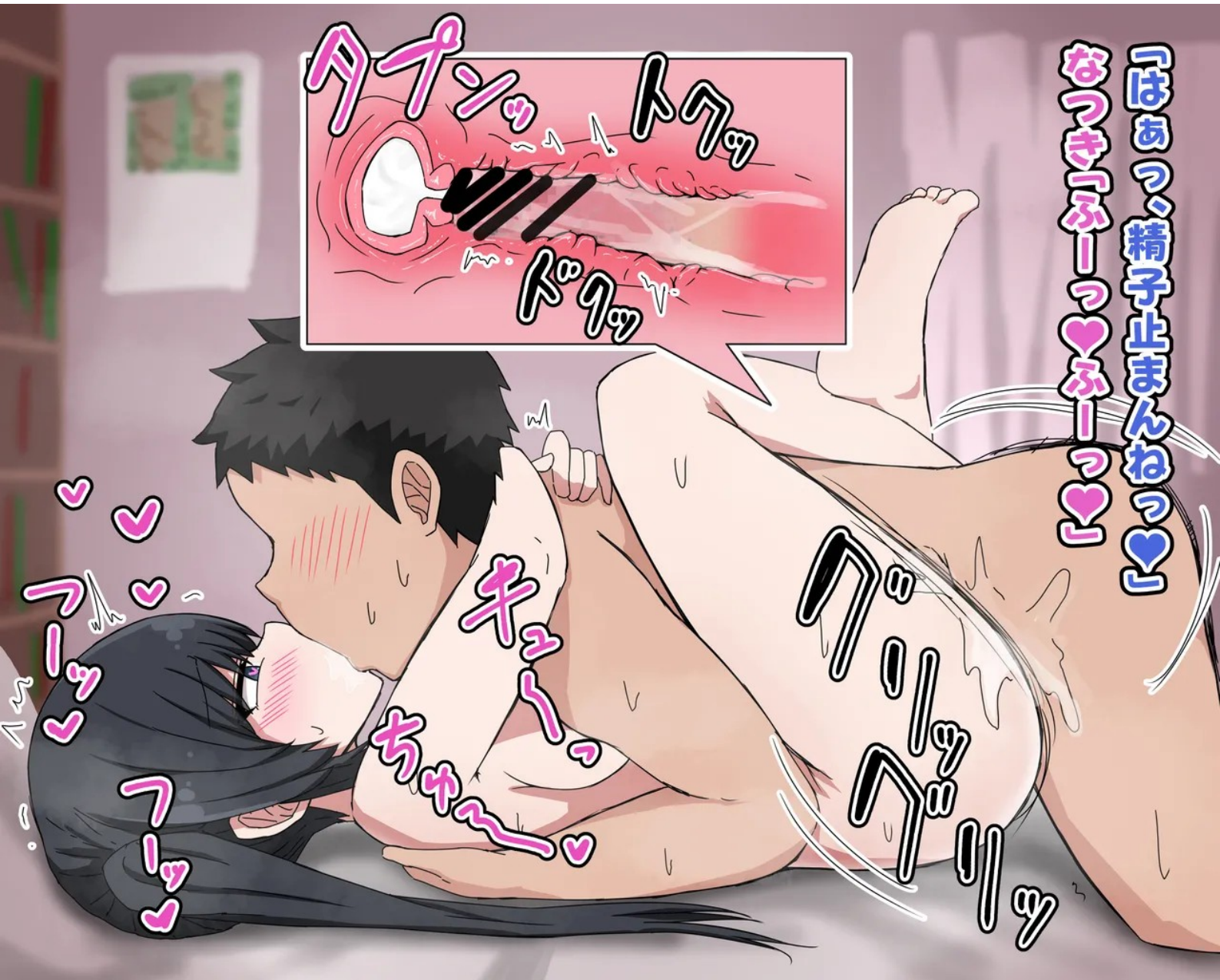
「んちゃ、このまま中に出せよ!!」  
なつき「んんっ♡♡♡中っ♡」



「孕めっ! 赤の他人のガキ孕めっ!!」







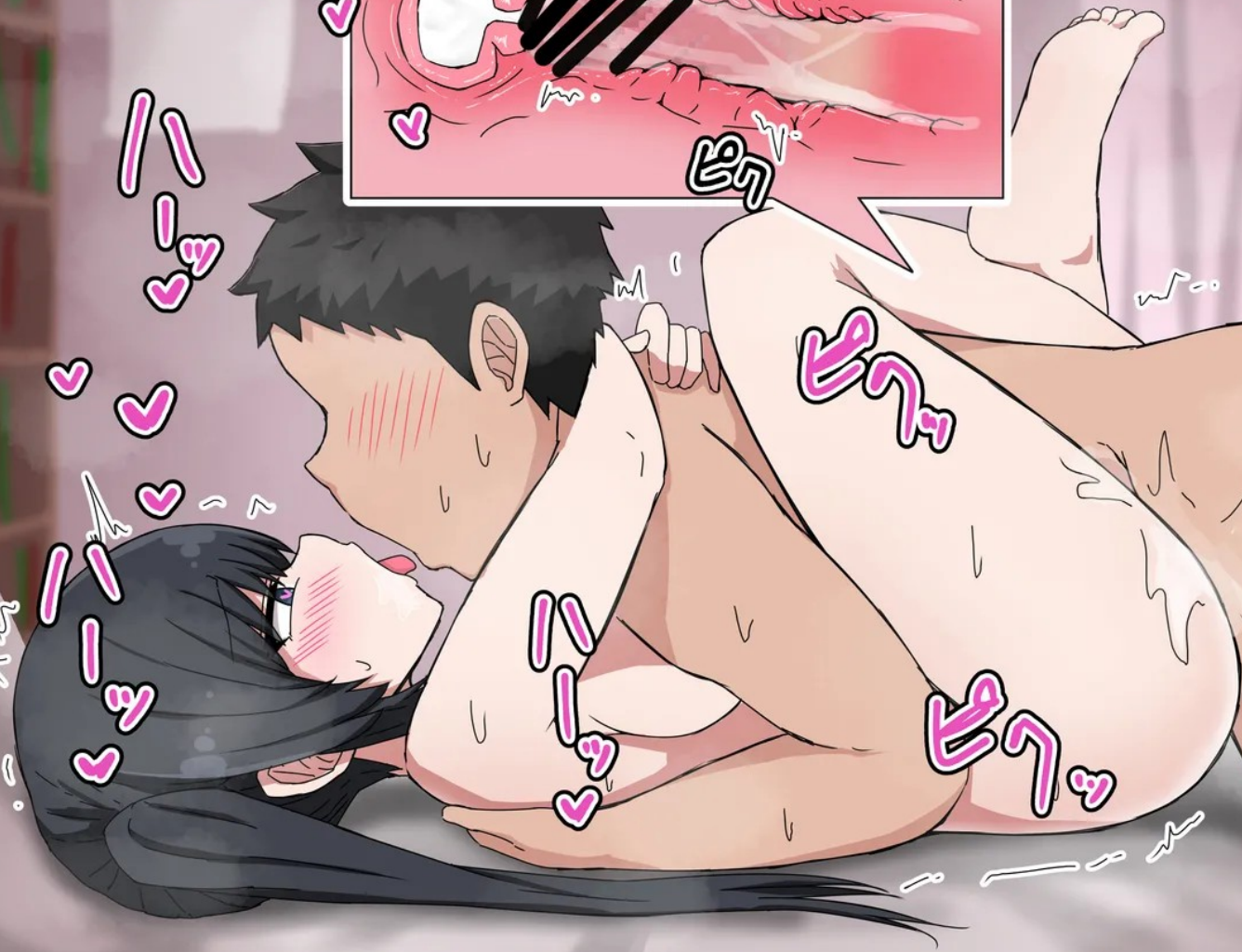
「はあっ、精子止まんねっ♡」  
なつき「ふーっ♡ふーっ♡」

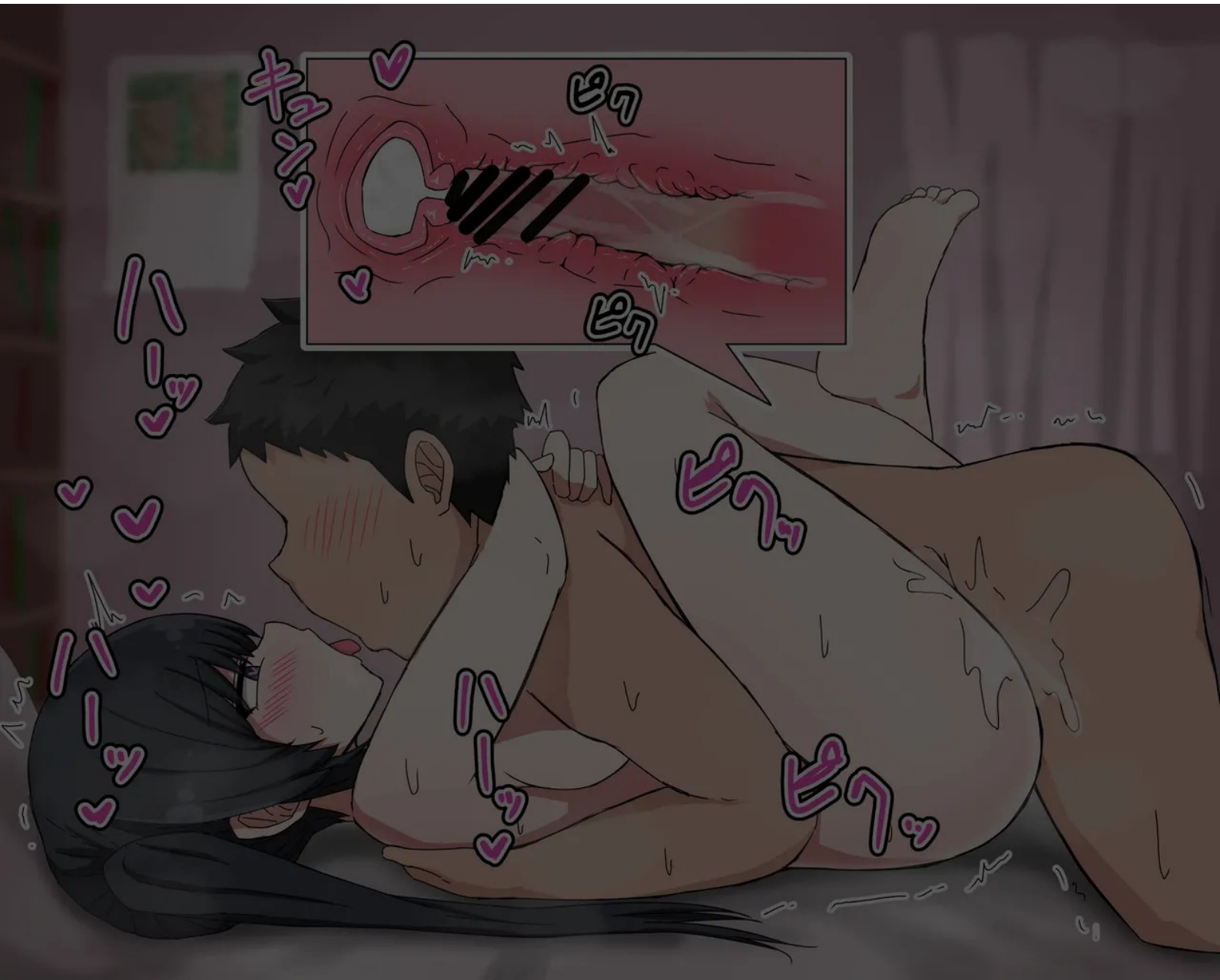
♡♡♡  
フーッ♡  
フーッ♡  
フーッ♡

キュッ♡  
ちゅっ♡

クッ♡  
クッ♡  
クッ♡

「これから毎日来るからな？彼氏とは別れろよ」  
なつき「…はい♡」





学生証



学生番号 0324XX

氏名 姫川 なつき

発行日 令和XX年4月1日

上記の者は当校の生徒であることを証明する  
私立〇×学園△□学校

姫川なつき

調教終了





おまけ

フヒミチオの授業



ええ…  
これ舐めるの…？

くっさあ  
ちゃんと洗ってるの…？



授業だし仕方ないし…

早く抜いて終わらせようっ

あはっ



皮の中を舌で掃除？  
ええ…マジで…？

うわあ  
めっちゃカス  
溜まってんじゃん

アッ

くっ  
くっ

うええ  
くっせあ…

彼氏のと違って  
匂いがめっちゃキツイ…

クチュ

シロ



はあはあ  
すごい濃い…

匂いでくらくらする  
でも何か…

ク  
チュ

ク  
チャ



癖になっ  
てくるかも…

あ、我慢汁…  
気持ちよく出来てるのかな？

グ  
チュ

グ  
チャ



我慢汁  
吸ってあげないと

んっちゅっ  
何か…美味しいかも…

ちゅ  
るるる

〜

今度は皮剥いて？

綺麗になったかな...？

↑  
↓

↑  
↓

メ  
チ  
ャ  
ア

人  
ロ  
オ  
〜



雄の匂いやばい

うっわ  
すっごい...

ドキ

ドキ

んあ

もあ

んっ  
すっ

んちゅっ  
我慢汁でロいっぱい…

あむっ



んぐっ  
んぐっ  
んぐっ  
んぐっ

喉奥…んぐっ  
犯されっちやってるっ

しゅわんぱん

しゅわんぱん



何かビクビクしてきた  
イキそうなのかな？

じゅっ

るるるるる

んっんっんっ  
フーツフーツ











































